

計評分科会及び分科会下の部会・委員会等に関する第6期科学技術・イノベーション基本計画に記載の目標・取組と
 分野別研究開発プランに記載の取組について

第6期科学技術・イノベーション基本計画			分野別研究開発プラン	
目標		当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に 関係する可能性のある取組 <small>二重アンダーラインは、文科省が主担当 アンダーラインは、文科省が主担当と副担当の両方 アンダーラインなしは、文科省が副担当</small>	左記取組に関係する可能性のある分科会等 <small>(斜体は総会直下の分科会等に設置された部会等)</small>	左に記載の委員会が担当する分野別研究開発プランに記載されているプログラムの指標
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策				
2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	多様性や卓越性を持った「知」を創出し続ける、世界最高水準の研究力を取り戻す			
(2) 新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)	(2) オープン・アンド・クローズ戦略に基づく研究データの管理・利活用、世界最高水準のネットワーク・計算資源の整備、設備・機器の共用・スマート化等により、研究者が必要な知識や研究資源に効果的にアクセスすることが可能となり、データ駆動型研究等の高付加価値な研究が加速されるとともに、市民等の多様な主体が参画した研究活動が行われる。	① 信頼性のある研究データの適切な管理・利活用促進のための環境整備	研究計画・評価分科会	
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策				
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする			
(1) サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出	(1) 「データ戦略」を完遂し、サイバー空間とフィジカル空間とがダイナミックな好循環を生み出す社会へと変革させ、いつでも、どこでも、誰でも、安心してデータやAIを活用して新たな価値を創出できるようになる。	④ デジタル社会に対応した次世代インフラやデータ・AI利活用技術の整備・研究開発	宇宙開発利用部会	
(3) レジリエントで安全・安心な社会の構築	(3) 頻発化・激甚化する自然災害、新たな生物学的脅威などの国民生活及び経済社会への様々な脅威に関する社会的な不安を低減・払拭し、国民の安全・安心を確保する。	⑤ 宇宙・海洋分野等の安全・安心への脅威への対応	宇宙開発利用部会	
(6) 様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	(6) 少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ(well-being)が向上する。	① 総合知を活用した未来社会像とエビデンスに基づく国家戦略の策定・推進	宇宙開発利用部会	

第6期科学技術・イノベーション基本計画		
目標		当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に関係する可能性のある取組 二重アンダーラインは、文科省が主担当 アンダーラインは、文科省が主担当と副担当の両方 アンダーラインなしは、文科省が副担当
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(3)レジリエントで安全・安心な社会の構築	(3)頻発化・激甚化する自然災害、新たな生物学的脅威などの国民生活及び経済社会への様々な脅威に関する社会的な不安を低減・払拭し、国民の安全・安心を確保する。	④新たな生物学的な脅威への対応
(6)様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	(6)少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ(well-being)が向上する。	①総合知を活用した未来社会像とエビデンスに基づく国家戦略の策定・推進
		② <u>社会課題解決のためのミッションオリエンテッド型の研究開発の推進</u>
2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	多様性や卓越性を持った「知」を創出し続ける、世界最高水準の研究力を取り戻す	
(2)新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)	(2)オープン・アンド・クローズ戦略に基づく研究データの管理・利活用、世界最高水準のネットワーク・計算資源の整備、設備・機器の共用・スマート化等により、研究者が必要な知識や研究資源に効果的にアクセスすることが可能となり、データ駆動型研究等の高付加価値な研究が加速されるとともに、市民等の多様な主体が参画した研究活動が行われる。	② <u>研究DXを支えるインフラ整備と高付加価値な研究の加速</u>

分野別研究開発プラン	
左記取組に係る可能性のある分科会等 (斜体は総会直下の分科会等に設置された部会等)	左に記載の委員会が担当する分野別研究開発プランに記載されているプログラムの指標
ライフサイエンス委員会	【ライフサイエンス分野研究開発プラン/医薬品・医療機器・ヘルスケアプログラム】 ○アウトプット指標:化合物提供件数 ○アウトカム指標:創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数、革新的医療機器の実用化に資する成果の件数
ライフサイエンス委員会	【ライフサイエンス分野研究開発プラン/再生・細胞医療・遺伝子治療プログラム】 ○アウトプット指標:企業へ導出される段階を目指す研究課題数 ○アウトカム指標:企業へ導出される段階に至った研究課題数
ライフサイエンス委員会	【ライフサイエンス分野研究開発プラン/ゲノム・データ基盤プログラム】 ○アウトプット指標:科学誌に論文が掲載された研究成果の数 ○アウトカム指標:発見された疾患関連遺伝子候補及び薬剤関連遺伝子候補数
ライフサイエンス委員会	【ライフサイエンス分野研究開発プラン/疾患基礎研究プログラム】 ○アウトプット指標:科学誌に論文が掲載された研究成果の数 ○アウトカム指標:シーズの導出件数
ライフサイエンス委員会	【ライフサイエンス分野研究開発プラン/シーズ開発・研究基盤プログラム】 ○アウトプット指標:橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズ数 ○アウトカム指標:治験届出件数のうち医師主導治験の数
ライフサイエンス委員会	【ライフサイエンス分野研究開発プラン/バイオリソース整備プログラム】 ○アウトプット指標:中核拠点や情報センターの整備件数 ○アウトカム指標:中核拠点が大学・研究機関等に提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数

第6期科学技術・イノベーション基本計画		
	目標	当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に関係する可能性のある取組 <u>二重アンダーラインは、文科省が主担当</u> <u>アンダーラインは、文科省が主担当と副担当の両方</u> <u>アンダーラインなしは、文科省が副担当</u>
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(2)地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進	(2)地球規模課題が深刻化する中で、我が国の温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロとし、世界のカーボンニュートラルを牽引するとともに、循環経済への移行を進めることで、気候変動をはじめとする環境問題の克服に貢献し、SDGsを踏まえた持続可能性が確保される。	①革新的環境イノベーション技術の研究開発・低コスト化の促進 ②多様なエネルギー源の活用等のための研究開発・実証等の推進 ③経済社会の再設計(リデザイン)の推進
(3)レジリエントで安全・安心な社会の構築	(3)頻発化・激甚化する自然災害、新たな生物学的脅威などの国民生活及び経済社会への様々な脅威に関する社会的な不安を低減・払拭し、国民の安全・安心を確保する。	①頻発化、激甚化する自然災害への対応
(6)様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	(6)少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ(well-being)が向上する。	①総合知を活用した未来社会像とエビデンスに基づく国家戦略の策定・推進 ②社会課題解決のためのミッションオリエンテッド型の研究開発の推進

分野別研究開発プラン	
左記取組に係る可能性のある分科会等 (斜体は総会直下の分科会等に設置された部会等)	左に記載の委員会が担当する分野別研究開発プランに記載されているプログラムの指標
環境エネルギー科学技術委員会	【環境エネルギー科学技術分野研究開発プラン/環境エネルギー科学技術分野研究開発プログラム】 プログラム達成状況の評価のための指標(プログラム2-1) ○アウトプット指標:論文累積件数(①②)/海外連携実績(②)/共通基盤技術(アプリケーション等)の件数(③④) データセットの登録累積件数(④)/研究開発に参画した地方公共団体(⑤) ○アウトカム指標:国、地方自治体、国際機関、民間企業等の気候変動対策検討への活動実績(①②⑤)/DIASの利用者数(③④)
環境エネルギー科学技術委員会	
環境エネルギー科学技術委員会	
環境エネルギー科学技術委員会	
環境エネルギー科学技術委員会	プログラム達成状況の評価のための指標(プログラム2-2) ○アウトプット指標:大学等間ネットワークへの参加大学等数(①)/研究開発テーマ数(②③④)/形成された拠点数(④) ○アウトカム指標:論文累積件数(①②③④)/特許出願累積件数(②③④)/分野横断の共同研究件数(③)/企業との共同研究件数(④)
環境エネルギー科学技術委員会	

第6期科学技術・イノベーション基本計画		
	目標	当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に関係する可能性のある取組 <u>二重アンダーラインは、文科省が主担当</u> <u>アンダーラインは、文科省が主担当と副担当の両方</u> <u>アンダーラインなしは、文科省が副担当</u>
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(6) 様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	(6) 少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ(well-being)が向上する。	① 総合知を活用した未来社会像とエビデンスに基づく国家戦略の策定・推進
2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	多様性や卓越性を持った「知」を創出し続ける、世界最高水準の研究力を取り戻す	
(2) 新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)	(2) オープン・アンド・クローズ戦略に基づく研究データの管理・利活用、世界最高水準のネットワーク・計算資源の整備、設備・機器の共用・スマート化等により、研究者が必要な知識や研究資源に効果的にアクセスすることが可能となり、データ駆動型研究等の高付加価値な研究が加速されるとともに、市民等の多様な主体が参画した研究活動が行われる。	② 研究DXを支えるインフラ整備と高付加価値な研究の加速
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(1) サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出	(1) 「データ戦略」を完遂し、サイバー空間とフィジカル空間とがダイナミックな好循環を生み出す社会へと変革させ、いつでも、どこでも、誰でも、安心してデータやAIを活用して新たな価値を創出できるようになる。	② データプラットフォームの整備と利便性の高いデータ活用サービスの提供
(3) レジリエントで安全・安心な社会の構築	(3) 頻発化・激甚化する自然災害、新たな生物学的脅威などの国民生活及び経済社会への様々な脅威に関する社会的な不安を低減・払拭し、国民の安全・安心を確保する。	① 頻発化、激甚化する自然災害への対応
(6) 様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	(6) 少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ(well-being)が向上する。	② 社会課題解決のためのミッションオリエンテッド型の研究開発の推進

分野別研究開発プラン	
左記取組に関係する可能性のある分科会等 (斜体は総会直下の分科会等に設置された部会等)	左に記載の委員会が担当する分野別研究開発プランに記載されているプログラムの指標
ナノテクノロジー・材料科学技術委員会	【ナノテクノロジー・材料科学技術分野研究開発プラン／ナノテクノロジー・材料科学技術分野研究開発プログラム】 ○アウトプット指標：先端共用設備における利用者に対する支援件数(①②)／利用料収入(①②)／登録機器数(②)／プロセスサイエンス構築により獲得されたプロセス・構造・物性の相関の件数(③)／ワークショップにおける参画機関数(④)／参画機関数(⑤) ○アウトカム指標：査読付論文数(①②④⑤)／産学官からの相談件数(③)／資金導入機関からの資金導入状況(③)／データの創出・活用に関する報告書数(④)／5つのフォーカス領域(代替・減量・循環・規制・新機能)の対象材料に関する特許数(⑤)
ナノテクノロジー・材料科学技術委員会	
防災科学技術委員会	【防災科学技術分野研究開発プラン／防災科学技術研究開発プログラム】 プログラム達成状況の評価のための指標(プログラム2-1、2-2共通) ○アウトプット指標：(1) 基盤的観測体制の整備(稼働率)、火山データの一元化、極端気象災害や複合連鎖型災害の発生過程の解明、データ公開の充実(2) 普及型耐震工法の確立、IoT等を用いた測定技術の開発、災害に強いまちづくりへの寄与(3) 防災リテラシー向上のための教育・啓発手法の開発及びそれによる被害軽減効果の定量化の確立(4) 査読付き論文数、研究成果報道発表数 ○アウトカム指標 (1) 被害の軽減につながる予測手法の確立(2) 建築物・インフラの耐災害性の向上(3) 自然災害の不確実性と社会の多様性を踏まえたリスク評価手法の確立
防災科学技術委員会	
防災科学技術委員会	

第6期科学技術・イノベーション基本計画		
	目標	当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に関係する可能性のある取組 二重アンダーラインは、文科省が主担当 アンダーラインは、文科省が主担当と副担当の両方 アンダーラインなしは、文科省が副担当
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(2) 地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進	(2) 地球規模課題が深刻化する中で、我が国の温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロとし、世界のカーボンニュートラルを牽引するとともに、循環経済への移行を進めることで、気候変動をはじめとする環境問題の克服に貢献し、SDGsを踏まえた持続可能性が確保される。	② 多様なエネルギー源の活用等のための研究開発・実証等の推進
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(2) 地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進	(2) 地球規模課題が深刻化する中で、我が国の温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロとし、世界のカーボンニュートラルを牽引するとともに、循環経済への移行を進めることで、気候変動をはじめとする環境問題の克服に貢献し、SDGsを踏まえた持続可能性が確保される。	② 多様なエネルギー源の活用等のための研究開発・実証等の推進

分野別研究開発プラン	
左記取組に係る可能性のある分科会等 (斜体は総会直下の分科会等に設置された部会等)	左に記載の委員会が担当する分野別研究開発プランに記載されているプログラムの指標
原子力科学技術委員会	【原子力科学技術分野研究開発プラン／原子力科学技術研究開発プログラム】 ○アウトプット指標：原子力分野における査読付き論文の公開数、研究成果報道等発表件数(プログラム2-1・2-2共通) ○アウトカム指標：除染、廃炉、廃止措置に資する研究の推進に関する取組の進捗状況、福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上のための研究開発の進捗状況、独創性・革新性の高い科学的意義を有する研究成果の創出状況(プログラム2-1)放射性廃棄物減容化研究開発等の進捗状況、原子力施設に関する新規規制基準・安全確保対策等の取組の進捗状況、丁寧な対話活動等を通じた社会の理解度の状況(プログラム2-2)
核融合科学技術委員会	【核融合科学技術分野研究開発プラン／核融合科学技術分野研究開発プログラム】 ○アウトプット指標：…①我が国が調達責任を有するITER機器の製作の着実な推進、②JT60SAの組立工程の完了及び運転の開始、③LHDにおける1億2,000万度の高性能プラズマの生成、④予備的な原型炉設計活動と研究開発活動の完了、⑤アウトリーチヘッドクォーターを通して多様な双方向型の交流の実施 ○アウトカム指標：…①ITER建設作業の進捗と計画の着実な進展への貢献、②JT60SAについて先進プラズマ研究開発のプラットフォームの構築、③LHDの実験結果のITER計画と原型炉設計の進展への貢献、④原型炉の工学設計に向けた見通しの把握、⑤核融合エネルギー実現に向けた社会の理解と支援基盤の構築

第6期科学技術・イノベーション基本計画		
	目標	当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に関係する可能性のある取組 二重アンダーラインは、文科省が主担当 アンダーラインは、文科省が主担当と副担当の両方 アンダーラインなしは、文科省が副担当
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(1) サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出	(1) 「データ戦略」を完遂し、サイバー空間とフィジカル空間とがダイナミックな好循環を生み出す社会へと変革させ、いつでも、どこでも、誰でも、安心してデータやAIを活用して新たな価値を創出できるようになる。	④ デジタル社会に対応した次世代インフラやデータ・AI活用技術の整備・研究開発
(6) 様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	(6) 少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ (well-being) が向上する。	① 総合知を活用した未来社会像とエビデンスに基づく国家戦略の策定・推進
2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	多様性や卓越性を持った「知」を創出し続ける、世界最高水準の研究力を取り戻す	
(1) 多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築	(1)-A 優秀な若者が、アカデミア、産業界、行政など様々な分野において活躍できる展望が描ける環境の中、経済的な心配をすることなく、自らの人生を賭けるに値するとして、誇りを持ち博士後期課程に進学し、挑戦に踏み出す。 (1)-B 基礎研究・学術研究から多様で卓越した研究成果の創出と蓄積が進むとともに、これを可能とする研究者に対する切れ目ない支援が実現する。 (1)-C ダイバーシティが確保された環境の下、個々の研究者が、腰を据えて研究に取り組む時間が確保され、自らの専門分野に閉じこもることなく、多様な主体と活発な知的交流を図り、海外研さん・海外経験の機会も通じて、刺激を受けることにより、創発的な研究が進み、より卓越性の高い研究成果が創出される。 (1)-D 人文・社会科学の厚みのある研究が進み、多様な知が創出されるとともに、国内外や地域の抱える複雑化する諸問題の解決に向けて、自然科学の知と融合した「総合知」を創出・活用することが定着する。	④ 基礎研究・学術研究の振興

分野別研究開発プラン	
左記取組に関係する可能性のある分科会等 (斜体は総会直下の分科会等に設置された部会等)	左に記載の委員会が担当する分野別研究開発プランに記載されているプログラムの指標
量子科学技術委員会	【光・量子技術分野研究開発プラン／光・量子技術分野研究開発プログラム】 ○アウトプット指標：…研究成果の創出状況(関連事業を通じた研究成果の学会等発表・論文等掲載数(累計)) ○アウトカム指標：…関連事業による研究成果の論文掲載数に占めるTOP10%論文割合
量子科学技術委員会	【量子ビーム分野研究開発プラン／量子ビーム分野研究開発プログラム】 ○アウトプット指標：…各施設の年間運転時間(次世代放射光施設(NanoTerasu)にあつては、加速器・ビームラインの開発・整備進捗率) ○アウトカム指標：…各施設に関係した研究の発表論文数。
量子科学技術委員会	

第6期科学技術・イノベーション基本計画		
目標		当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に関係する可能性のある取組 二重アンダーラインは、文科省が主担当 アンダーラインは、文科省が主担当と副担当の両方 アンダーラインなしは、文科省が副担当
第2章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	我が国の社会を再設計し、地球規模課題の解決を世界に先駆けて達成し、国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な幸せを得られるようにする	
(1) サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出	(1) 「データ戦略」を完遂し、サイバー空間とフィジカル空間とがダイナミックな好循環を生み出す社会へと変革させ、いつでも、どこでも、誰でも、安心してデータやAIを活用して新たな価値を創出できるようになる。	② データプラットフォームの整備と利便性の高いデータ活用サービスの提供 ④ デジタル社会に対応した次世代インフラやデータ・AI利活用技術の整備・研究開発
(6) 様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	(6) 少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ(well-being)が向上する。	① 総合知を活用した未来社会像とエビデンスに基づく国家戦略の策定・推進
2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	多様性や卓越性を持った「知」を創出し続ける、世界最高水準の研究力を取り戻す	
(1) 多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築	(1)-A 優秀な若者が、アカデミア、産業界、行政など様々な分野において活躍できる展望が描ける環境の中、経済的な心配をすることなく、自らの人生を賭けるに値するとして、誇りを持ち博士後期課程に進学し、挑戦に踏み出す。 (1)-B 基礎研究・学術研究から多様で卓越した研究成果の創出と蓄積が進むとともに、これを可能とする研究者に対する切れ目ない支援が実現する。 (1)-C ダイバーシティが確保された環境の下、個々の研究者が、腰を据えて研究に取り組む時間が確保され、自らの専門分野に閉じこもることなく、多様な主体と活発な知的交流を図り、海外研さん・海外経験の機会も通じて、刺激を受けることにより、創発的な研究が進み、より卓越性の高い研究成果が創出される。 (1)-D 人文・社会科学の厚みのある研究が進み、多様な知が創出されるとともに、国内外や地域の抱える複雑化する諸問題の解決に向けて、自然科学の知と融合した「総合知」を創出・活用することが定着する。	⑦ 人文・社会科学の振興と総合知の創出
(2) 新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)	(2) オープン・アンド・クローズ戦略に基づく研究データの管理・利活用、世界最高水準のネットワーク・計算資源の整備、設備・機器の共用・スマート化等により、研究者が必要な知識や研究資源に効果的にアクセスすることが可能となり、データ駆動型研究等の高付加価値な研究が加速されるとともに、市民等の多様な主体が参画した研究活動が行われる。	① 信頼性のある研究データの適切な管理・利活用促進のための環境整備 ② 研究DXを支えるインフラ整備と高付加価値な研究の加速

分野別研究開発プラン	
左記取組に関係する可能性のある分科会等 (斜体は総会直下の分科会等に設置された部会等)	左に記載の委員会が担当する分野別研究開発プランに記載されているプログラムの指標
情報委員会	【情報分野研究開発プラン/情報分野研究開発プログラム(1)~(4)】
情報委員会	プログラム(1) ○アウトプット指標:人工知能やビッグデータ解析関連の国際的に権威のある会合での入賞者数(累計)/共同研究の参画研究機関数 ○アウトカム指標:AIPセンターの研究成果に基づき実社会での実証実験に至っている案件数(累計)/AIPセンターの研究成果に基づき開発された、次世代の新たな人工知能基盤技術の数(累計)
情報委員会	プログラム(2) ○アウトプット指標:企業、自治体、他の研究機関等の参画機関数/国際会議開催等のアウトリーチ活動件数 ○アウトカム指標:社会実装された研究開発のテーマ数/企業等との共同研究契約の件数/社会実装のための実証実験の完遂/外部資金獲得状況
情報委員会	プログラム(3) ○アウトプット指標:中核機関群の選定後に具体的な指標を検討/全国的な研究データ基盤と接続・連携する個別分野等のデータプラットフォーム数※中核機関群の選定後に目標値について検討 ○アウトカム指標:全国的な研究データ基盤にデータを登録する機関数※中核機関群の選定後に目標値について検討/全国的な研究データ基盤で検索可能な研究データのメタデータ数※中核機関群の選定後に目標値について検討/機関リポジトリを有する国立大学法人・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人におけるデータポリシーの策定率
情報委員会	プログラム(4) ○アウトプット指標:HPCIの中核となるスーパーコンピュータ「富岳」の年間稼働率 ○アウトカム指標:集計年度末までに登録された、HPCIを利用した研究の論文発表数
情報委員会	

*第6期科学技術・イノベーション基本計画より抜粋。ただし、「目標」及び「主要指標」の各カラムにおける付番並びに「当該目標の中に位置づけられている取組のうち科学技術・学術審議会に関係する可能性のある取組」における二重アンダーライン、アンダーライン並びに「左記取組に関係する可能性のある分科会等」は、総会事務局にて追記。

*第6期科学技術・イノベーション基本計画に記載の目標の中に位置づけられている取組は、他審議会が関係するものもある。